



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 第41回大会報告
- 会員異動
- 学会関連カレンダー
- 学会主催会議等の詳細
- 次期役員候補者の推薦受付について
- 第22期日本農薬学会役員選挙「郵送投票」の申請について
- 日本農薬学会第42回大会における広告、展示およびランチョンセミナーの開催等について
のお願い

平成27年度第6回常任評議員会議事録

日時：平成28年3月16日(水) 14:00～15:00

場所：島根県くにびきメッセ

出席者：会長，副会長，常任評議員，第41回大会組織委員長代理 計15名

議事：

I. 平成27年度第5回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

1. 財務関係

- ・平成27年度収支について報告があり，収支計算書の内容を確認した。
- ・公認会計士による外部監査について報告があった。
- ・40周年記念事業予算に新たに特別加算費目を追加した。

2. 編集委員会

- ・農薬誌とJPSの掲載原稿数と頁数の報告があった。
- ・投稿細則の改定について説明があった。

3. 環境委員会

- ・農薬理解促進WGに関しての報告があった。

4. 日本農学会関連報告

- ・農学会授賞式が4月5日に開催される。農薬学会から推薦された安藤哲氏が授賞される。

5. 研究会等の協賛について

- ・平成28年6月24日(金)に淡路夢舞台国際会議場(兵庫県淡路市)で開催予定の構造活性フォーラム2016を協賛することを承認した。

6. 国際学会の渡航費補助について

- ・リーヴァ・デル・ガルダ(イタリア)で開催予定のEuropean Bioenergetics Conference 2016とポートランド(アメリカ)で開催予定のMolecular Plant-Microbe Interactions 2016への参加に各1名ずつの申請があり，それぞれ補助することに決定した。

7. 役員・評議員選挙について

- ・平成28年度に実施される役員・評議員選挙について，選挙管理委員長として大山和俊氏，委員として成田伊都美氏，山地充洋氏，中村英光氏が承認された。
- ・選挙に関わる規定を確認し，選挙日程を検討した。

8. 大会関係

- ・第41回大会準備状況について大会実行委員会から報告があった。
- ・第42回評議員会資料および進行について確認した。
- ・第41回通常総会資料および進行について確認した。

9. 第42回大会について

- ・平成29年3月6日～8日，愛媛大学(松山市)で開催予定であることを確認した。

10. 入退会の報告(平成28年2月1日～平成28年2月29日)

- ・入退会が承認された。入会は正会員2名，学生3名。退会は正会員8名，学生2名。

11. その他

- ・シンポジウム開催者に源泉徴収税額分を学会へ振り込むことを依頼する。
- ・第2回常評は7月30日，第3回目は9月1～2週目を予定。
- ・内部監査の役務について，次回の常評より検討する。

平成28年度第1回常任評議員会議事録

日 時：平成28年5月14日(土) 13:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：会長，副会長，常任評議員 計14名

議 事：

I. 平成27年度第6回常任評議員会議事録について確認した。

II. 経過報告および議事

1. 財務関係

- ・平成28年度収支の現状(1月1日から4月30日まで)について報告があった。
- ・個人番号取扱規定が検討され承認された。
- ・本年度より外部監査を実施しているため，今後の監事による監査内容について検討した。

2. 編集委員会

- ・JPS第41巻2号，3号と，農薬誌41巻2号の発行予定について報告があった。
- ・平成28年度の投稿審査状況について報告があった。
- ・島根大会での編集委員会企画ランチョンセミナー「編集委員長と話そう」について報告があり，本企画を継続していく旨の説明があった。

3. 環境委員会

- ・平成28年度の活動の状況と予定について説明があった。残留分析セミナーは，例年通り2回実施する(関東および関西)。
- ・農薬の理解促進WGが作成したWEBサイト「農薬を知ろう」が5月5日に開設されたことが報告された。
- ・今後の環境委員会の活動体制について提案があり検討された。

4. 将来計画委員会

- ・活動状況について説明があった。

5. ホームページ委員会

- ・活動状況について説明があった。

6. 学会賞受賞者選考委員会

- ・第1回選考委員会はメール会議で行い，評議員・小集会委員長への学会賞の推薦依頼を6月15日に実施予定であることが報告された。
- ・日本農学進歩賞の推薦について検討した。

7. 技術士育成推進委員会

- ・島根大会での技術士試験対策セミナーについての報告があった。参加者は47名であった。

8. 海外渡航経費補助関係

- ・財務委員会より本年度の海外渡航費補助の申請状況と方針について説明があった。
- ・トロント(カナダ)で開催予定のInternational

Conference on Plant Growth Substancesとバンクーバー(カナダ)で開催予定のCytochrome P450 Biodiversity & Biotechnology 2016への参加に各1名ずつの申請があり，それぞれ補助することに決定した。

- ・本助成の募集・申請方法を改定することが承認された。

9. 日本農学会関係

- ・日本農学会平成28年度第1回運営委員会の報告があった。平成29年度日本農学会シンポジウムのテーマが募集中である旨説明があった。

10. 公益財団法人農学会

- ・技術者教育推進委員会について報告があった。JABEE農学系分野審査講習会を協賛する。

11. 第41回大会について

- ・第41回大会の収支について報告があった。

12. 40周年記念事業関連

- ・40周年記念事業の収支経過について報告があった。
- ・電子アーカイブ化の進捗状況について報告があった。
- ・学会出版物の著作権利用許諾手続きについて説明があった。

13. 研究会の後援・協賛について

- ・平成28年10月3日から6日まで京都テルサで開催予定の第12回エコバランス国際会議の協賛することが承認された。
- ・平成28年10月9日から13日まで神戸国際会議場で開催予定のThe 9th International PCB Workshopの後援が承認された。

14. 学術小集会関係

- ・農薬製剤・施用法研究会の委員の交代について，2名の新委員が承認された。

15. 役員・評議員選挙について

- ・平成28年度に実施される役員・評議員選挙の投票方法およびWEB投票システムについて説明があった。希望者は郵送による投票を受け付ける。

16. 入退会の報告(平成28年3月1日～平成28年4月30日)

- ・入退会が承認された。入会は正会員8名，学生1名，海外学生会員1名。退会は正会員13名，学生3名。

17. その他

なし

日本農薬学会第41回大会報告

日本農薬学会第41回大会は，去る平成28年3月17日(木)～19日(土)の3日間，島根県松江市のくにびきメッセ(県立産業交流会館)および島根大学において開催されました。正

会員、名誉会員、終身会員、維持会員、学生会員に加え、関連学会（日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本雑草学会、植物化学調節学会）会員（25名）や非会員の方々（121名）の参加もあり、参加者総数は464名を数えました。

初日は、くにびきメッセにおいて、総会に引き続き、学会賞授賞式、受賞者講演（6題）、特別講演（2題）が行われました。2日、3日目は島根大学松江キャンパスに会場を移し、一般講演（110題）、シンポジウム（4会場）、ランチョンセミナー（8題）が行われました。いずれの会場でも大勢の参加者による活発な討論がなされました。初日から最終日まで各会場が多く参加者で盛況であったことは、嬉しい限りでした。本大会では新しい取り組みとして、編集委員会企画セミナーがランチョンセミナーとして開催され、大会参加者のお子様をお預かりする託児室が設置されました。

最後に、第41回大会（松江）を無事に終えることが出来ましたことに対し、ご協力を賜りました参加者各位、特別講演やシンポジウムでの講演をいただいた先生方、ならびにご支援を賜りました企業各社に厚く御礼申し上げます。

日本農薬学会第41回大会実行委員会委員長
尾添嘉久（島根大学）



写真1 平成28年度学会賞受賞者（後列右端は米山会長）



写真2 シンポジウム会場

日本農業学会第41回大会 収支報告書

科 目	金額 (円)	備 考									
収入の部											
大会参加費	2,451,000	有料参加者数	大会	懇親会	招待(無料)	大会	懇親会	参加者総計	大会	懇親会	
懇親会参加費	2,183,000	正会員	257	187	正会員	47	54	正会員	304	241	
		非正会員	109	69	非正会員	11	12	非正会員	120	81	
		学生会員	40	22	学生会員	0	0	学生会員	40	22	
		合計	406	278	合計	58	66	合計	464	344	
講演要旨集	30,000	10冊									
広告収入	890,000	21件									
企業展示開催費	250,000	6件									
ランチョンセミナー開催費	1,500,000	6件									
協賛	172,274	農業工業会									
助成金	1,000,000	島根県									
雑収入	26	貯金利息									
収入合計	8,476,300										
支出の部											
大会運営費	656,376	会場設営, 機材, 看板等									
印刷代	583,200	講演要旨集600部, ポスター150部									
懇親会	3,510,378										
交通費	285,140	バス6台, 送迎タクシー									
事前申込システム管理費	535,000	東武トップツアーズ									
弁当・飲料代	664,000	大会スタッフ, ランチョンセミナー									
謝金・交通費・宿泊費	781,919	特別講演, シンポジウム講師									
通信・郵送費	60,507										
託児所開設経費	8,900	1名利用									
運営委員会経費	513,981										
アルバイト雇用費	853,000	延96名									
雑支出	5,724	振込手数料(12件)									
支出合計	8,458,125										
収支差額	18,175	学会へ返金									

会 員 異 動

(平成28年2月1日～平成28年7月15日)

入 会

正会員

上野翔太郎 松島 芳隆 山岸 悟 森下 祥
越山 竜行 藤崎真理子 姜 凱 北村 恭朗
倉科 瑛衣 阿部新太郎 相澤 美里 矢口 直輝
岡部 亮 木村 教男 草場 友之

学生会員

岩井 崇晃 杉原 裕亮 加藤 靖児 枝松 広明

海外会員

AHMED, Mohamed Ahmed Ibrahim

(受付順)

退 会

正会員

原田 直樹 小原 嘉彦 榊原 風太 西松 哲義
近藤 隆 芳賀 俊郎 千田 拓哉 三浦 亮太
市原 勝 猪飼 隆 西村 薫 佐藤 敦彦
今成 実季 重村 雅夫 渡辺真知子 佐藤 亮介
石本 泰彦 矢野 佳子 森田 遼 下村 紘子
金戸 恵子 河野 均 岩川 純也 井澤 典彦

学生会員

大楠 賢 中崎 翔子 西口沙也加 谷澤 悟
水谷 将馬

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛する会議等

2016年

9月

14日(水) 第31回報農会シンポジウム

主 催：公益財団法人報農会

会 場：「北とぴあ」つつじホール [〒114-8503 東京都北
区王子1-11-1]

U R L : <http://www.honokai.org/>

10月

3日(月)～6日(木) 第12回エコバランス国際会議

主 催：日本LCA学会

会 場：京都テルサ [〒601-8047 京都市南区東九条下殿
田町70番地 京都府民総合交流プラザ内]

U R L : <http://www.ecobalance2016.org/>

6日(木)～7日(金) 第36回農薬製剤・施用法シンポジウム

主 催：日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会

会 場：神奈川県民ホール [〒231-0023 神奈川県横浜市
中区山下町3-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/formulation.html>

9日(日)～13日(木) 第9回国際PCBワークショップ

主 催：第9回国際PCBワークショップ実行委員会

会 場：神戸コンベンションセンター 神戸国際会議場
[〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目
11-1]

U R L : <http://ee-net.ne.jp/pcb2016/>

13日(木)～14日(金) 第39回農薬残留分析研究会

主 催：日本農薬学会 農薬残留分析研究会

会 場：イーグレひめじ [〒670-0012 兵庫県姫路市本町
68-290]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanryu39.html>

28日(金)～30日(日) 植物化学調節学会第51回大会

主 催：植物化学調節学会

会 場：高知大学物部キャンパス [〒783-8502 高知県南
国市物部乙200]

U R L : [http://www.jscrp.jp/calendar/years/第51回大会\(高知\).html](http://www.jscrp.jp/calendar/years/第51回大会(高知).html)

11月

10日(木)～11日(金) 第34回農薬環境科学研究会

主 催：日本農薬学会 農薬環境科学研究会

会 場：ルミエール府中市市民会館 [〒180-0055 東京都府
中市府中町2-24]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/environment.html>

16日(水)～17日(木) 第31回農薬デザイン研究会

主 催：日本農薬学会 農薬デザイン研究会

会 場：京都大学医学部創立百周年記念施設「芝蘭会館」
[〒606-8315 京都府京都市左京区吉田近衛町]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/design.html>

17日(木)～18日(金) 第16回糸状菌分子生物学コンファレンス

主 催：糸状菌分子生物学研究会

会 場：宇治おうばくプラザ [〒611-0011 京都府宇治市
五ヶ庄・京都大学宇治キャンパス内]

U R L : http://www.biosci.osakafu-u.ac.jp/fmbsj/topics/conf_topics_j/

22日(火) 第24回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主 催：日本農薬学会 農薬レギュラトリーサイエンス研究会

会場：法政大学スカイホール（市ヶ谷キャンパスポアソ
ナードタワー 26F）[〒102-8160 東京都千代田区
富士見2-17-1]

URL：<http://pssj2.jp/2015/committee/regula/regula24.html>

2017年

3月

6日(月)～8日(水) 日本農薬学会第42回大会

主催：日本農薬学会

会場：愛媛大学 [〒790-8566 松山市樽味3-5-7]

URL：<http://pssj2.jp/congresses/42/pretaikai42.html>

学会主催会議等の詳細

残留農薬分析セミナー 2016のご案内

残留農薬分析セミナーを下記のように開催しますので、奮ってご参加ください。詳細については、下記Websiteをご参照ください。Websiteは順次アップデートしてまいります。

URL：http://pssj2.jp/overview/semina/bunseki_16.html

1. 開催時期と内容

【関東】

開催場所：明治薬科大学剛堂会館（東京都千代田区紀尾井町
3-27）

（注）清瀬キャンパスではありません。

URL：https://www.my-pharm.ac.jp/koho/guide_goudou_k.html

開催時期：平成28年10月20日(木) 10～17時

定員：36名まで（先着順，最終申込締切：10月14日，
開催当日での申込・参加はできません。）

内容（予定）：

1. 残留農薬分析に係る法律と背景
 與語 靖洋（農研機構農業環境変動研究センター）
2. 残留農薬分析の概要と留意点
 永山 敏廣（明治薬科大学）
3. 残留農薬分析に関するグループ討議
 橋本 良子（東京都農林水産振興財団），
 北原 由美（日本食品分析センター）
4. 総合討論

【関西】

開催場所：近畿大学農学部

開催時期：平成28年11月19日(土) 10～17時

定員：16名（先着順，最終申込締切：11月11日，開催
当日での申込・参加はできません。）

内容（予定）：

1. 残留農薬分析に係る法律と背景

與語 靖洋（農研機構農業環境変動研究センター）

2. 残留農薬分析の概要と留意点
 和田 聖代（住化テクノサービス）
3. 前処理ミニカラムの最適化の考え方と上手な使い方
4. 残留農薬分析実験の内容と進め方
5. 残留農薬分析実験（実習）
6. 総合討論

2. 参加費

関西：学会員 10,000円，非会員 23,000円，学生 5,000円

関東：学会員 5,000円，非会員 15,000円，学生 2,000円

参加費（含むテキスト代，昼食代）は当日お支払いください。

事前または当日農薬学会に入会（年会費8,000円）される場合は学会員の参加費が適用されます。学会員の扱いは個人会員に限っており，団体会員は対象になりませんのでご承知おきください。また，個人会員の方におかれましても，2016年の学会費が納入されていることが必要ですので，もし納入されておられない場合には開催日までに納入されますようお願いいたします。

セミナーでは「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂3版2012」（日本農薬学会より出版）をテキストとして使用します。尚，開催日当日にテキストも販売しますので，追加購入を希望される方はお求め下さい（1冊2,500円）。

ご参加の際には，関西では実技ができる服装のご準備をお願いいたします。なお，関東における参加は平服で構いません。

3. 申し込み先及び問い合わせ先

日本農薬学会宛に（下記 E-mailあるいはFAX），『参加希望開催日と場所，氏名，所属，連絡先（E-mail アドレス，TEL番号，FAX番号），本分析セミナーへの参加回数（はっきりしない場合には，おおよその数で構いません）』をご連絡ください。

日本農薬学会 E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

FAX: 03-5980-0282

不明点等につきましても上記にお問合せください。

第36回農薬製剤・施用法研究会

主催：日本農薬学会 農薬製剤・施用法研究会

協賛：農業食料工学会，日本雑草学会，粉体工学会，日本化学会，高分子学会，色材協会，日本油化学会

日時：平成28年10月6日(木)～7日(金)

場所：神奈川県立県民ホール 小ホール [〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町3-1]

TEL: 045-662-5901 FAX: 045-641-3184

<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

交通：みなとみらい線日本大通り駅より徒歩約6分

URL：<http://www.pssj2.jp/committee/seizai/seizai36.html>

プログラム（予定）：

10月6日（木）13:00～17:00

（特別講演1）「日本農業のこれから」

横田敏恭（アグリビジネス推進研究協会）

（技術研究発表）

（ポスターセッション）

〈懇親会 18:00～20:00〉

10月7日（金）9:30～16:00

（特別講演2）「The Evolution of Global Regulatory as

applicable to Agrochemicals—Past, Present
and Future」

Curtis Elsik, Ph. D. (Huntsman Corporation)

（技術研究発表）

（フォーラム）

「CIPAC報告（仮題）」

参加申込み方法：

参加申込書を研究会ホームページ（下記参照）からダウンロードし、所属、氏名（フリガナ）、連絡先等の必要事項を明記の上、Excelファイル形式のままE-mailの添付ファイルで、もしくはファックスまたは郵送で下記にお申し込み下さい。（参加者名簿の誤植を防止するため可能な限り電子ファイルの送信での申込みをお願いいたします。）

なお、発送事務等の省力化のため、会社・事業所・研究機関等の単位で代表者が取りまとめの上、一括してお申込み下さるようお願い致します。

大会運営の都合上定員（330名）になり次第、締め切らせていただきますのでお早目の申込みをお願い致します。

・参加申込書：別紙1（<http://www.pssj2.jp/committee/seizai/seizai36.html>）

・申込み先：バイエルクロップサイエンス(株) 開発センター 開発本部製剤開発部内
第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局 参加申込み担当
北垣 憲一（キタガキ ケンイチ）宛
〒307-0001 茨城県結城市結城9511-4
TEL: 0296-33-8866 FAX: 0296-33-4491
E-mail: seizai_seyou36@bayer.com

参加費：

7月1日～当日の参加申込みの通常料金

19,000円（内 研究会費13,000円，懇親会費6,000円）

なお、一日のみの参加、および懇親会の参加有無にかかわらず、参加料金は一律（研究会費＋懇親会費）です。（振込手数料につきましては別途負担となります。）

参加費振込：

参加申込み後は、下記振り込み口座に参加費をお早めに振り込み頂きますようお願い致します。また、一度振り込まれました分は返金できませんのであらかじめご了承下さい。ご入金確認後に、折返し参加確認および・参加費振込確認書を送付致します。参加申込書にてお受け取り方法をご指定ください（E-mail, FAXまたは郵送）。

なお、参加申込み・入金確認書をもって領収書とさせていただきます。

振り込み先：三菱東京UFJ銀行 駒込支店（店番号061）

普通口座番号：0020365

口座名：農薬製剤施用法研究会（ノウヤクセイ
ザイ セヨウホウ ケンキュウカイ）

技術研究発表・ポスターセッション申込み：

終了しました。

宿泊等：

事務局での宿泊手配は行っておりません。ご出席の皆様各自にてホテル等ご予約をお願い致します。また、2日目の昼食に弁当は用意しておりませんので、予めご了承ください。

問い合わせ先：

[参加申込み、参加費に関するお問合せ]

第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

北垣 憲一（キタガキ ケンイチ）宛

（連絡先は参加申し込み方法を参照）

[技術研究発表・ポスターセッションに関するお問合せ]

第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

秋山 正樹（アキヤマ マサキ）宛

（連絡先は下記参照）

[その他シンポジウム全般に関する問い合わせ]

北興化学工業(株) 開発研究所内

第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

秋山 正樹（アキヤマ マサキ）宛

〒243-0023 神奈川県厚木市戸田2165番地

TEL: 046-228-5881 FAX: 046-228-0164

E-mail: seizaisympo@hokkochem.co.jp

全国農業協同組合連合会 営農・技術センター 農薬
研究室内

第36回農薬製剤・施用法シンポジウム事務局

三輪 正昭（ミワ マサキ）

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡4-18-1

TEL: 079-289-3443

E-mail: zz_zk_seizai_seyo36@zennoh.or.jp

第39回農薬残留分析研究会

主催：日本農薬学会 農薬残留分析研究会
日時：平成28年10月13日(木)～14日(金)
場所：イーグレひめじ [〒670-0012 兵庫県姫路市本町
68-290]
TEL: 045-662-5901 FAX: 045-641-3184
<http://www1.winknet.ne.jp/~egret-himeji/>

交通：JR姫路駅から約600 m
URL：<http://pssj2.jp/committee/zanryu/zanry39.html>
プログラム

〈10月13日(木)：1日目〉

- 12:00～13:00 受付(イーグレひめじ3階あいめっせホール前)
- 13:00～13:05 開会挨拶
- 13:05～15:45 シンポジウム「食品における残留農薬等の輸出入検査の現状(仮)」
- (1)「検疫所における輸入品の残留農薬検査の現状について」
右京 政補氏(厚生労働省 神戸検疫所)
 - (2)「畜水産物の対EU, 対米輸出にかかわる検査について」
鈴木 宏子氏(一般財団法人 日本食品分析センター)
 - (3)「農産物輸入品の残留農薬検査の現状について(仮)」
橘田 規氏(一般財団法人 日本冷凍食品検査協会)
 - (4)「農産物輸出における残留農薬検査の実情と今後の展望について」
安藤 孝氏(一般社団法人 食の安全分析センター)

15:45～17:15 ポスターセッション, 企業展示(地下1階第1, 第2展示室)(ポスター賞投票〆切: 17:15)

17:15～17:55 特別講演「兵庫県の病虫害防除対策への取り組み(仮)」 前川和正(兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター病虫害部)

18:10～20:30 情報交換会(姫路モノリス2階ダイニングイーグレひめじから徒歩1分)

〈10月14日(金)：2日目〉

09:00～10:00 ポスターセッション, 企業展示(地下1階第1, 第2展示室)

(10:15～11:45: 企業展示撤去)

10:00～10:45 一般講演 3題(各15分)

10:45～11:15 ヨーロッパ残留農薬ワークショップ2016参加報告

起橋雅浩(大阪府立公衆衛生研究所食品化学課)

11:15～12:00 企業セミナー(3社, 各15分) QuEChERS
法関連の情報提供

12:00 閉会

12:00～17:00 エクスカーション(バスで移動)

国立研究開発法人理化学研究所放射光科学総合研究センター SPring-8, SACLA 見学

灘菊酒造見学

JR姫路駅にて解散(17:00頃)

その他：プログラム詳細等の最新情報は、本ホームページならびにPSSJ News Letterにて、ご案内致します。

参加費：(講演要旨集1部の代金を含む) 農薬学会正会員 5,000円(当日7,000円) 非会員 8,000円(当日10,000円) 学生 2,000円

情報交換会費：農薬学会正会員 8,000円(当日10,000円)

非会員 8,000円(当日10,000円) 学生 3,000円

エクスカーション：3,500円(先着50名)

参加申し込み：参加申込書(Wordファイル)をダウンロードして必要事項を記入し、E-mailもしくはFAXにてお申込みください。宛先は申込書に記載があります。受付後、担当者より確認メールを返信します。参加申込みの期限は、9月16日(金)、振込み期限は9月30日(金)です。事前申込みの期日を過ぎると当日受付扱いになります。

ポスター発表申し込み：ポスター発表申込書(Wordファイル)をダウンロードして必要事項を記入し、E-mailにてお申込みください。宛先は申込書に記載があります。受付後、担当者よりポスター発表要領を返信します。なお、ポスター発表の中から、委員会の選定した課題について一般講演(口頭発表)をお願いします。優れたポスター発表は表彰をします(最優秀賞, 優秀賞, 委員会特別賞)。ポスター発表の申込みの期限は9月1日(木)、要旨の提出期限は9月16日(金)です。

企業展示申し込み：企業展示申込書(Wordファイル)をダウンロードして必要事項を記入し、E-mailもしくはFAXにてお申込みください。宛先は申込書に記載があります。受付後、担当者より確認メールを返信します。企業展示の申込みの期限は、8月15日(木)です。

宿泊先：宿泊斡旋は致しませんので、参加者各自にてホテル等の予約をお願いします。直前での宿泊先の確保はかなり難しいとの情報がございますので、宿泊を予定されておりましたら早めに宿泊先の確保をお願いします。また、コンベンション開催支援を受けるにあたり、姫路市内の宿泊施設に宿泊される人数および宿泊施設名を把握する必要がございます。当日受付にてお伺いしますのでお知らせくださるようご協力の程、よろしく願いいたします。

[問い合わせ先]：

株式会社化学分析コンサルタント 望月 隆広

TEL: 03-3967-8235 FAX: 03-3967-4481

E-mail: takahiro_mochizuki@jacc.jp

第39回農薬環境科学研究会

主催：日本農薬学会 農薬環境科学研究会
日時：平成28年11月10日(木)～11日(金)
場所：ルミエール府中市民会館 [〒183-0055 東京都府中市中府中町2-24]
TEL: 042-361-4111
http://www.lumiere-fuchu.jp
交通：京王線府中駅下車，徒歩6分（新宿駅～府中駅は最短20分）

URL：http://pssj2.jp/committee/environment/environment34.html

テーマ「流域圏における農薬動態評価について—圃場から流域をつなげるモニタリングとモデリング—」

プログラム

〈11月10日(木)：1日目〉流域圏における農薬動態評価に向けて

- 12:15～ 受付開始
13:00～13:10 開会挨拶（農薬環境科学研究会委員長：田村 廣人）
13:10～14:00 特別講演 放射性セシウムの流域環境における動態と生態系への影響について
五味 高志（東京農工大学 農学研究院）
14:00～14:40 オープンデータを活用した流域特性評価と暴露評価への活用
岩崎 亘典（農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター）
14:40～15:20 圃場から流域をつなげる水・土砂・栄養塩動態のモニタリングとモデリング
大澤 和敏（宇都宮大学 農学部）
15:20～15:30 (休憩)
15:30～16:10 農薬の水田および畑地を含む流域圏でのモデル化—筑後川流域
近藤 圭（残留農薬研究所 化学部）
16:10～16:50 水田を含む水環境中におけるパッシブサンプリング技術を用いた農薬モニタリング
矢吹 芳教（大阪府立環境農林水産総合研究所 環境科学センター）
16:50～17:30 ポスター発表
18:00～20:00 情報交換会（講演会場施設内）
〈11月11日(金)：2日目〉圃場における農薬動態評価に向けて
9:00～9:40 土壌など各種媒体のサンプリング手法，機器

に関する解説等について

山本 紘之（大起理化工業株式会社）

- 9:40～10:20 水田環境における農薬動態モニタリング
須戸 幹（滋賀県立大学 環境科学部）
10:20～10:30 (休憩)
10:30～11:10 畑地環境における農薬動態—モニタリングとspecモデルについて
ブランジェ・ジュリアン（明治大学大学院 農学研究科）
11:10～11:50 作物への移行性を考慮した土壌における農薬の動態評価
元木 裕（農林水産消費安全技術センター 農薬検査部）
11:50～12:20 総合討論
12:25～12:30 閉会
12:30～ エクスカーション（東京農工大学キャンパスツアー，植物工場等の大学施設見学を予定。参加申込み者には，お弁当が提供されます。16時頃に府中駅に到着可能なように解散予定です。）

参加申込み：参加申込書（Wordファイル）をダウンロードして必要事項を入力の上，メールもしくはFAXにて研究会受付担当（E-mail: iijima@iet.or.jp, FAX: 0297-27-4517）宛にお申込みください。受付後，確認メールが返信されます。

※ 参加申し込みの期限は，10月10日(月)です（振込期限：10月末）。

事前申し込みの期日を過ぎると当日受付扱いになります。

（当日受付：会員 7,000円，非会員 10,000円）

ポスター発表申込み：ポスター発表申込書（Wordファイル）をダウンロードして必要事項を入力の上，石原悟宛（E-mail: satoru_ishihara@acis.famic.go.jp）にメールにてお申込みください。受付確認後に，ポスター作成要領を返信致します。なお，ポスター発表の中から，優れた課題を情報交換会にて表彰します。

※ ポスター発表の申込み期限は9月30日(金)です（原稿〆切：10月10日）。

宿泊先：本年度は，宿泊斡旋は致しませんので，各自にて会場または周辺ホテルを予約してください。

問い合わせ先：東京農工大学・大学院農学府・国際環境農学
専攻 渡邊 裕純
TEL/FAX: 042-367-5889
E-mail: pochic@cc.tuat.ac.jp

第31回農薬デザイン研究会

(第44回構造活性相関シンポジウムとの共同開催)

主催：日本農薬学会 農薬デザイン研究会, 日本薬学会
構造活性相関部会

協賛：日本農芸化学会, 日本化学会

日時：平成28年11月16日(水)～17日(木)

場所：京都大学医学部創立百年記念施設 芝蘭会館 [〒606-
8315 京都府京都市左京区吉田近衛町]

TEL: 075-753-9336 FAX: 075-753-9457

<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/shiran/>

URL: <http://pssj2.jp/committee/design/design31.html>

プログラム

特別講演

「A Structural View of Allosteric Control of Transcription by
Steroid Nuclear Receptors (仮題)」

Dr. Isabelle Billas (IGBMC, France)

招待講演

「スパコン・ビッグデータ時代の創薬 (仮題)」

奥野 恭史 (京都大学大学院 医学研究科)

「薬物トランスポーターの新しい構造活性相関解析法の開発
と臨床・創薬への応用」

石川 智久 (個別化医療研究所)

「分子設計ソフトウェア myPresto による広範囲なツール提
供：一精密分子設計の前段階— (仮題)」

福西 快文 (産業技術総合研究所)

「シストセンチュウふ化促進物質の全合成 (仮題)」

谷野 圭持 (北海道大学大学院 総合化学院)

「植物病害虫に関わる生物活性天然物の合成 (仮題)」

渡邊 秀典 (東京大学大学院 農学生命研究科)

「分子動力学シミュレーションとX線溶液散乱法の連携によ

るタンパク質動的構造解析」

池口 満徳 (横浜市立大学 生命医科学研究科)

「分子シミュレーションで探るタンパク質-リガンド間相互
作用」

寺田 透 (東京大学大学院 農学生命科学研究科)

発表申し込み：合成, 生物活性, 構造活性相関を中心に農薬
研究/開発に関わるポスター発表を募集します。申し込
まれる方は, 氏名 (所属), 発表のタイトルを実行委員
会宛にメールでお送りください。学生の発表に対して
は優秀ポスター賞を設けます。ただし対象者は農薬学会
の会員に限ります。要旨テンプレートをホームページ
(<http://pssj2.jp/committee/design/design31.html>) から
ダウンロードして, 全て英語で記述してください。1ペー
ジ (あるいは2ページ) で結構です。

発表申込締切：8月31日(水)

要旨提出締切：9月16日(金)

参加登録：参加登録は第44回構造活性相関シンポジウムの
ホームページ (<http://www.qsarj.org/44sympo/index.html>)
から行って下さい。

参加登録締切：10月14日(金)

参加登録費：[一般] 8,000円 (当日10,000円), [学生] 2,000円
(当日3,000円)

懇親会参加費：[一般] 7,000円 (当日9,000円), [学生] 3,000円
(当日4,000円)

参加費の振り込み口座：

みずほ銀行 出町支店 普通1272206

第44回構造活性相関シンポジウム・第31回農薬デザイ
ン研究会実行委員会

(ダイ44カイコウゾウカッセイソウカンシンポジウム・
ダイ31カイノウヤクデザインケンキュウカイジッコウ
イインカイ)

次期役員候補者の推薦受付について

本会役員選出規定に基づき、正会員、名誉会員、終身会員、学生会員は次期（平成29年4月1日～31年3月31日）の役員候補者を推薦することができます。推薦する場合は、役員選出規定（特に該当する部分を以下に抜粋しています）をご参照のうえ、候補者名を平成28年9月20日（火）（必着）までに本会選挙管理委員会に文書で届けて下さい。届出文書様式は任意としますが、必ず推薦者本人の署名捺印を必要とします。なお、会則および規定の全文は農薬誌第41巻第2号および学会ホームページに掲載していますので、併せてご参照ください。

推薦に際して候補者が会員かどうかをお知りになりたい場合、ホームページから会員名簿を閲覧することができますので、ご利用ください。なお、正確を期したい場合は学会事務局までお問い合わせください。

送付・問い合わせ先：〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

日本植物防疫協会内

日本農薬学会選挙管理委員会

TEL 03 (5980) 0281

学会ホームページ：<http://pssj2.jp/>

会 則（抜粋）

第15条 会長、副会長1名、評議員70名および監事は、正会員、名誉会員、終身会員、学生会員の互選による。

第17条 役員の任期は、2年とする。ただし、会長は重任することができない。

役員選出規定（抜粋）

4. 会則第15条および本規定に定める会員とは、役員任期満了の前年の5月31日現在の会員とする。
5. 会員は10名以上の連署により、会長1名、副会長1名、監事2名以内の候補者を推薦することができる。また、会員は評議員候補者2名以内を推薦することができる。

第22期日本農薬学会役員選挙「郵送投票」の申請について

平成28年10月に第22期（平成29～30年度）日本農薬学会役員選挙が実施されます。インターネットを介したWeb投票システムが利用できますので、会員の皆様には大変便利なWeb投票システムにより是非投票にご参加くださいますようお願いいたします。ただし、インターネット環境が整っていない会員の皆様には投票用紙の郵送による投票もできます。郵送での投票をご希望の方は、下記、選挙管理委員会（農薬学会事務局）宛にE-mail, FAX, 電話などで郵送投票を希望する旨、会員番号と伴にご連絡ください。事務局への連絡は、遅くとも平成28年9月9日（金）までお願いいたします。折返し、学会事務局より郵送投票申請書類一式を、ご登録いただいている学会誌送付先へ郵送します。申請書に必要事項をご記入の上、ご返信いただくことで正式に受理とします。申請書の提出期限は平成28年9月20日（必着）です。お問い合わせ後、10日以内に書類がお手元に届かない場合には学会事務局までご連絡ください。

この申請がない場合は、自動的にWebでの投票となりますので、ご希望の方には、忘れずにお早めに郵送による投票のご申請をお願いします。なお、本会規定により、平成28年5月31日時点で平成28年度の会費を納入していない方には選挙権が認められていませんので、ご注意ください。

日本農薬学会選挙管理委員会

（学会事務局）

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

Tel: 03-5980-0281

Fax: 03-5980-0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp

日本農薬学会第42回大会における広告，展示およびランチョンセミナー募集のご案内

日本農薬学会第42回大会が下記の日程・会場で開催されます。つきましては、講演要旨集への広告の掲載，展示会への出展，およびランチョンセミナーの開催等でご支援を賜りたいと考えております。各応募の詳細および申込先等につきましては学会ホームページ (<http://pssj2.jp/congresses/42/pretaikai42.html>) に掲載しています。本大会の成功のために、何卒ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日 程：平成29年3月6日(月)～3月8日(水)
会 場：愛媛大学城北キャンパス，松山全日空ホテル

申し込み・問い合わせ先：
TEL: 089-946-9846
E-mail: syamauch@agr.ehime-u.ac.jp

日本農薬学会第42回大会組織委員会委員長
愛媛大学生農学部
山内 聡

今年の夏はやはりオリンピックである。スポーツ好きには有り難いことに、これを超える大きなニュースは少ないようだ。猛暑の中、試合の熱気が伝わるが、清々しさのためか、応援に集中するためか、ひととき暑さを忘れる。4年後は東京だが、農業分野では選手村での食品認証が待っているとのことだ。少し楽観的だが、グローバルGAPに対応し、さらに、これを機に農産物の国際競争力の向上も狙っている。食品のみでなく環境や労働への配慮も必要であり、研究者が積極的に貢献できる部分もありそうだ。

さて今号では、次期役員選挙の案内のほか、秋以降のセミナーやシンポジウムが多数紹介されているので、是非参照されたい。

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@mocha.ocn.ne.jp